

▶ 会社概要

会社名	メタウォーター株式会社
英文社名	METAWATER Co., Ltd.
本社所在地	〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目25番地 JR神田万世橋ビル
設立	2008年4月1日
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
業種別分類／コード	電気・ガス業／9551
主な事業内容	浄水場・下水処理場・ごみ処理施設向け設備等の 設計・建設、各種機器類の設計・製造・販売、補修 工事、運転管理等の各種サービスの提供
従業員数	3,340人 ※2021年3月31日現在、連結
主要グループ会社	メタウォーターサービス株式会社 METAWATER USA, INC. Aqua-Aerobic Systems, Inc. Rood Wit Blauw Holding B. V. Wigen Companies , Inc. Mecana Umwelttechnik GmbH FUCHS Enprotec GmbH メタウォーターテック株式会社 株式会社エス・アイ・シー 株式会社あけぼのエンジニアリング

▶ 取締役・監査役 (2021年9月30日現在)

代表取締役会長	中村 靖	社外取締役	田内 常夫
代表取締役社長	山口 賢二	常勤監査役	初又 繁
取締役	加藤 明	社外監査役	植村 公彦
取締役	奥田 昇	社外監査役	瀧本 和男
社外取締役	相澤 馨	社外監査役	福井 琢
社外取締役	小棹 ふみ子		

▶ 執行役員 (2021年9月30日現在)

執行役員会長	中村 靖	執行役員	江連 淑人
執行役員社長	山口 賢二	執行役員	草野 二男
執行役員副社長	加藤 明	執行役員	門脇 進
執行役員常務	奥田 昇	執行役員	山口 康一
執行役員常務	酒井 雅史	執行役員	秋川 健
執行役員	中村 英二	執行役員	加藤 達夫
執行役員	藤井 泉智夫	執行役員	中野 博之
執行役員	高木 雅宏	執行役員	伊藤 一
執行役員	中川 雅幸		

メタウォーター株式会社
www.metawater.co.jp

▶ 大株主（上位10名） (2021年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本碍子株式会社	10,620	24.37
富士電機株式会社	10,600	24.33
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,468	7.96
JP MORGAN CHASE BANK 385632	2,610	5.99
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,514	3.47
株式会社日本カストディ銀行(信託口9)	821	1.88
メタウォーターグループ従業員持株会	577	1.32
BANQUE ET CAISSE D'EPARGNE DE L'ETAT LUXEMBOURG 46985807	560	1.28
GOVERNMENT OF NORWAY	487	1.11
野村信託銀行株式会社(信託口)	433	0.99

(注) 当社は2021年9月30日現在において自己株式8,196,032株を保有しておりましたが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。
なお、2021年11月19日付で自己株式4,000,000株を消却いたしました。

株主メモ	
■ 事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
■ 基準日	定時株主総会の議決権 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
■ 単元株式数	100株
■ 株主名簿管理人兼 特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
■ 同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
■ 公告方法	電子公告(当社ホームページに掲載) ただし、事故その他やむを得ない事由により、 電子公告による公告をすることができない場 合は、日本経済新聞に掲載いたします。 https://www.metawater.co.jp/ir/notice/

配当金のお支払いについて
配当金は、支払開始日から満3年(除斥期間)を経過しますとお支払いできませんので、お早めにお受け取りください。

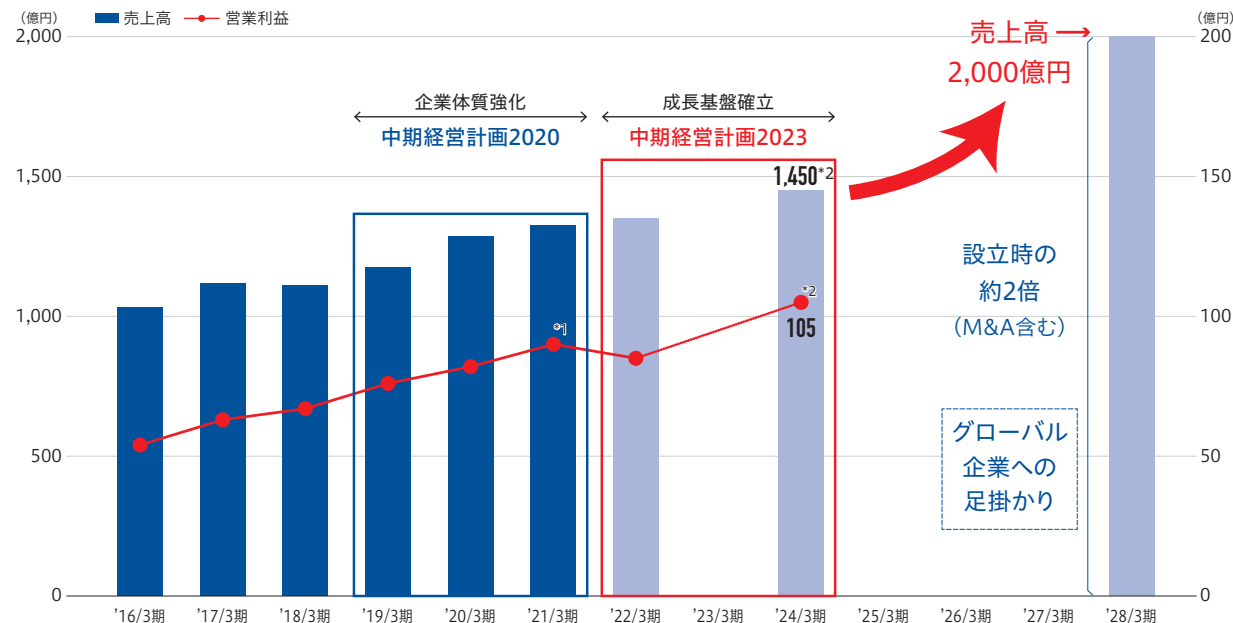


第49期
中間株主通信

メタウォーター株式会社
証券コード9551

「中期経営計画2023」を確実に実行し、長期ビジョンにつながる成長基盤を構築

当社グループは、国内・海外の上下水道を取り巻く事業環境を踏まえ、長期ビジョン（2028年3月期 連結売上高2,000億円）の実現に向けた成長基盤確立のステージとして、2024年3月期を最終年度とする「中期経営計画2023」を策定し、目標達成に向けて取り組んでいます。



*1 退職給付信託株式売却に伴う未認識数理計算上の差異の一括償却などの一過性要因を除く本業ベースでの営業利益

*2 「中期経営計画2023」連結業績の修正予想に基づく

「中期経営計画2023」の重点施策

1 基盤分野の強化と成長分野の拡大

- ① 基盤分野
(EPC*1事業・O&M*2事業)の強化
- ② 成長分野
(PPP*3事業・海外事業)の拡大

*1 EPC…設計・調達・建設

*2 O&M…運転・維持管理

*3 PPP…公共サービスの提供に民間が参画する手法

2 研究開発投資の拡大

- ① 強い分野のさらなる強化
- ② 機電融合技術の創出
- ③ 情報連鎖を活かした価値創出

3 持続的なESGの取り組み

- ① 事業を通じた環境貢献
- ② 環境保全活動の推進
- ③ 事業を通じた社会貢献
- ④ 働き方改革のさらなる推進
- ⑤ コーポレートガバナンスの強化

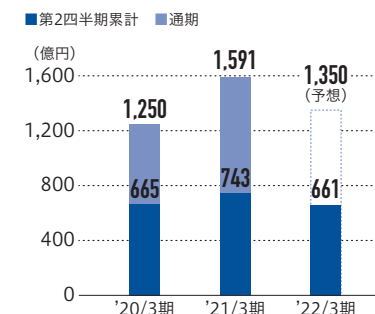
業績ハイライト

当第2四半期連結累計期間では、受注高は、前第2四半期連結累計期間との案件構成の違いから前期実績を下回りましたが、海外事業においてWigen Companies, Inc.とRood Wit Blauw Holding B.V.を新規連結したこと、およびO&M、PPP事業の伸長により、売上高、各利益ともに前期実績を上回り増収増益となりました。

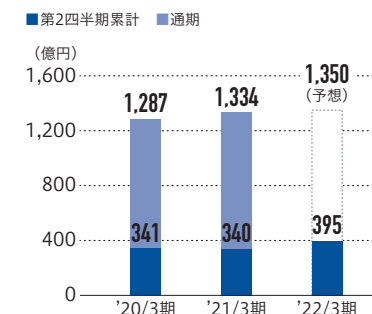
その結果、受注高661億円（前期比81億円減）、売上高395億円（同55億円増）、営業利益32億円（同2億円増）、経常利益31億円（同5億円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益24億円（同3億円増）となりました。

主な経営指標（連結） ※2022年3月期通期連結業績の修正予想に基づく

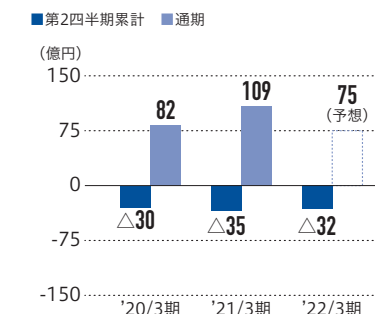
受注高



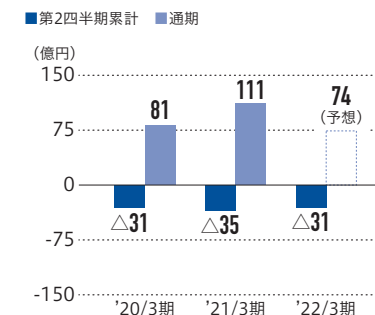
売上高



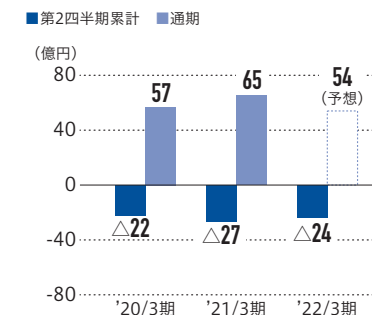
営業利益



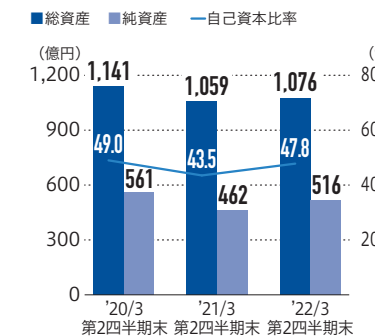
経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



総資産と純資産、自己資本比率





2022年3月期通期連結業績予想を修正し
「中期経営計画2023」の目標値を見直しました。

代表取締役社長 山口 賢二

2022年3月期通期連結業績予想の修正

当社グループは、全国初の上水、工業用水、下水の官民連携事業となる「宮城県上地下水一体官民連携運営事業（以下 本事業）」の優先交渉権者に選定され、2022年4月から事業運営を開始する予定です。これに先立ち、本事業の運営会社として「株式会社みずむすびマネジメントみやぎ^{*1}（以下、SPC^{*2}）」を2021年5月19日に設立しました。

SPCは初年度にあたる2022年3月期においては売上は計上されませんが、事業運営開始に向けた準備費用（人件費など）を先行計上する予定です。

今般、SPCが当社の連結子会社になる予定となったため、本年4月27日に公表した2022年3月期の通期連結業績予想について、売上高の変更は行いませんが、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益をそれぞれ下方修正しました。

*1株式会社みずむすびマネジメントみやぎ	
所在地	宮城県仙台市青葉区立町27番21号
代表	代表取締役社長 酒井雅史
事業内容	宮城県上地下水一体官民連携運営事業の事業主体として、3事業9個別事業（水道用水供給2事業、工業用水道3事業、流域下水道4事業）を実施
株主	メタウォーター株式会社 ヴェオリア・ジェネッツ株式会社 オリックス株式会社 株式会社日立製作所 株式会社日水コン 株式会社橋本店 株式会社復建技術コンサルタント 産電工業株式会社 東急建設株式会社 メタウォーターサービス株式会社

*2 SPC：特別目的会社

「中期経営計画2023」目標値の見直し

SPCが予定通り2022年4月より事業運営を開始した場合の業績を当社の連結業績に織り込み、「中期経営計画2023」の最終年度である2024年3月期の目標値を上方修正

(連結)	【初年度】2022年3月期		
	(億円)		
	当初予想	見直し後予想	増減
受注高	1,350	1,350	—
売上高	1,350	1,350	—
営業利益 (営業利益率)	85 (6.3%)	75 (5.6%)	▲10 (▲0.7%)
当期純利益	58	54	▲4
ROE	10%以上	10%以上	—



【最終年度】2024年3月期			
(億円)			
当初目標	見直し後目標	増減 (当初比)	増減 (’22/3期比)
1,450	1,500	+50	+150
1,400	1,450	+50	+100
100 (7.1%)	105 (7.2%)	+5 (+0.1%)	+30 (+1.6%)
70	72	+2	+18
10%以上	11%以上	—	—

(ご参考) 宮城県ホームページより
動画で知ろう！「みやぎ型管理運営方式」
<https://www.pref.miyagi.jp/site/miyagigata/miyagigata-kaisetu.html>

新市場区分におけるプライム市場の選択申請

当社は、2022年4月4日に予定されている東京証券取引所の新市場区分への移行に際し、2021年7月9日付で東京証券取引所より「新市場区分における上場維持基準への適合

状況に関する一次判定結果」を受領しました。この結果に基づき、「プライム市場」を選択し、東京証券取引所に申請しました。

自己株式の消却

当社は2019年12月、自己株式の取得および公開買付けを実施し、戦略的投資に活用すべく、発行済株式数の約16%を保有してきましたが、今後の資金使途などを精査し

2021年11月19日に自己株式400万株を消却しました。なお残りの約419万株については、引き続き戦略的投資としての使途を検討していきます。

* 自己株式の消却を決議（10月27日東証開示）

消却予定日	2021年11月19日	消却後 発行済株式総数: 47,758,500株
消却する株式数	4,000,000株*	消却後 自己株式数: 4,196,032株（8.79%）

* 消却前の発行済株式の総数（51,758,500株）に対する割合7.73%

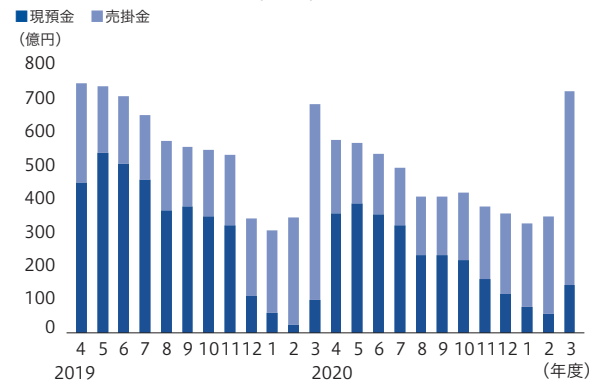
投資家の皆さまからよく聞かれる質問について、財務責任者がお答えします。

執行役員 経営企画本部 財務企画室長
中川 雅幸

Q1 売上・利益が第4四半期偏重だが、資金ポジションの考え方は？

A 当社グループは国内の自治体が主な顧客であるため、1年間の売上の約6割が第4四半期に集中し、期末のバランスシートには700億円を超える売掛金が計上されます。

現預金・売掛金の推移（単体）



この回収が進む4～5月に現預金残高はピークを迎え、その後、工事進行に伴う部材代金など事業活動に要する支払いを毎月行っていきます。つまり年間の事業活動に必要な資金を4～5月に稼ぎ、1年をかけて使いきっていくイメージです。

そのため2～3月の日々の資金繰りを見ると、期末の3月に向けてたまっていく調達先への支払いを、スポット的な短期借入でカバーする厳しい局面もあります。

これらは、当社の四半期末日時点の財務状況を示すバランスシートや事業期間の資金の流れを示すキャッシュ・フロー計算書には表れない部分ですが、自治体向けの売上が多くを占める当社ならではの特徴といえます。

Q2 格付けを取得した理由は？

A PPP事業の拡大や長期プロジェクトの増加、当社事業をさらに強化する研究開発投資の継続などを踏まえると、今後、安定した資金調達が必要だと痛感し

ています。

当社グループは、事業基盤の拡大に対応した資金調達の多様化と安定化、対外的信用力の向上を図るため、2020年12月に株式会社格付投資情報センター(R&I)、2021年8月に株式会社日本格付研究所(JCR)の発行体格付を取得しました。

事業の安定性や堅実な財務基盤などが評価され、高い評価をいただきました。

格付機関	格付の種類	格付	方向性
R&I	発行体格付	A	安定的

格付機関	格付の種類	格付	方向性
JCR	長期発行体格付	A ⁺	安定的

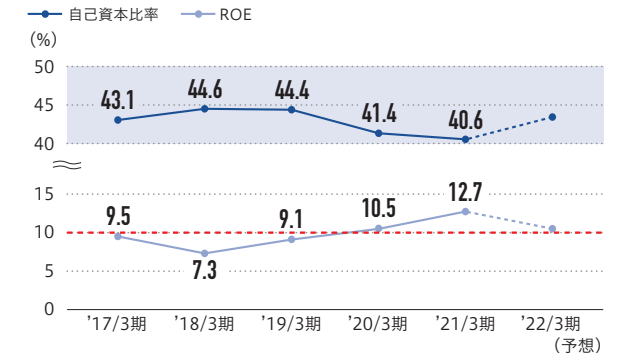
Q3 内部留保と株主還元の考え方は？

A 日本では、自治体の公共工事を請け負う建設業者は「経営状況」「経営規模」「技術力」「その他の審査項目(社会性等)」を数値化し、評価、格付される「経営事項審査」を受けなければなりません。

そのため、全国の自治体を顧客に持つ当社グループは、財務の健全性を維持しつつ、資本効率と株主還元の最適なバランスを追求することが重要になります。

経営指標としては、自己資本比率40%以上、ROE10%以上を目安とし、継続的に企業価値向上を目指していくことが大切だと考えています。

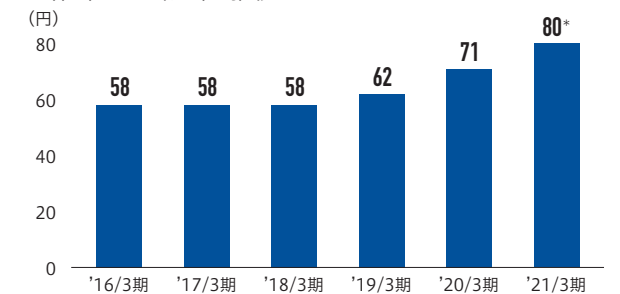
ROEと自己資本比率のバランス（'22/3期予想）



当社グループは、将来の成長投資や安定成長と経営環境の変化に対応するための内部留保資金を確保しつつ、経営状況に応じた株主への利益還元を継続して行い、中間と期末の年2回の配当を実施することを基本方針としています。

配当に当たっては、株価推移や配当利回り、配当性向(3割程度を目安)などを勘案し、決定しています。

1株当たりの配当金推移



* 2020年10月1日付の株式分割(1株を2株に分割)前を基準とした金額

堅型高速回転破碎機を導入 資源環境の今後の 指針として注目の現場！

業務概要

現場名：小平・村山・大和衛生組合
 不燃・粗大ごみ処理施設
 案件名：不燃・粗大ごみ処理施設運転管理等業務委託
 契約期間：2021年4月1日～2022年3月31日
 所在地：東京都小平市中島町2-1



来年から24年間のO&M* 業務委託がスタート

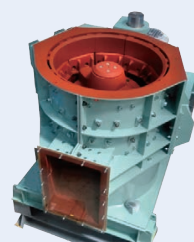
東京都西部には、小平市、東大和市、武蔵村山市が3市共同で「小平・村山・大和衛生組合」として運営する不燃・粗大ごみ処理施設（以下、本施設）があります。当社が建設から請け負い、2020年3月に竣工、同年4月から運営を行っている新設の現場です。来年からはDBO方式*による24年間にわたる長期のO&M業務委託がスタートします。

業務範囲は、小型家電や家具などの家庭から出る粗大ごみおよび不燃ごみの受け入れと破碎処理で、粗大ごみ処理には当社独自の技術である堅型高速回転破碎機が導入されています。

*O&M：運転・維持管理

*DBO方式：公共施設などの設計・建設、運転・維持管理に民間を活用する手法

堅型高速回転破碎機の特長



- 設置容積の削減
- 破碎物の運送効率アップ
- 電動機容量を低減
- 維持管理費を低減

↓
 省スペースかつ効率的に
 ごみを再資源化

資源環境の今後の指針に

この現場は、資源環境の今後の指針とされています。その理由は、EPC*からO&Mまでの全てを一気通貫で行える当社ならではの総合力を発揮できる点です。これ

により、施設運営を全体的に見通すことができ、運営の効率化とデータの蓄積が可能となります。もう1つの理由として、小型化によりさまざまなメリットをもたらす堅型高速回転破碎機が挙げられます。この破碎機を運転・管理しながら技術力の向上を図り、新規開発製品の見極めを進めていくことが期待されています。

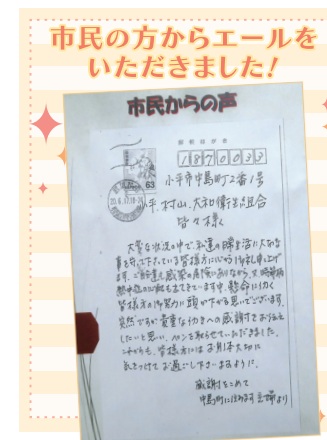
*EPC：設計・調達・建設

万全の社内サポートと 市民からの励ましに支えられて

本施設は、昨年4月に運転を開始してから1年半が経過しました。コロナ禍も影響してか、現場では予想以上にごみ収集量が多く、作業工程でいくつかの機器トラブルが発生

しているものの、冷静に対処がなされています。機器に不具合が発生しても、すぐに本社から応援が駆けつけて技術的なサポートを行っており、設計から運営までを自社で全て行っているからこそ問題解決までの対応が早く、現場の安心感にもつながっています。

また、市民の方から励ましのお手紙をいただくこともあり、現場のモチベーションにも大きく寄与しています。



△クレーンから不燃ごみを破碎機へ運ぶ供給コンベア

△貯留ヤードから粗大ごみを粗破機へ運ぶ供給コンベア

△省スペース設置を可能にした堅型高速回転破碎機

△ベッドをクッションとスプリングに分ける作業

△人の手で小型家電などを取り除く

△中央操作室で全体を管理

△膨大な粗大ごみが選別貯留ヤードに集積される

推進中！魚と植物を同時に育てる循環型農業「アクアポニックス」

当社は2020年3月、魚と植物を同時に育てる循環型農業「アクアポニックス」を展開する株式会社プラントフォームに出資を行いました。

アクアポニックスは、養殖する魚の排泄物を肥料にして植物を育てる新しい農業の手法で、水で行う有機栽培ともいわれています。農薬や化学肥料を使わないだけでなく水も捨てないため、環境負荷を最小限に留めながら養殖と農業を行うことを可能とします。

現在、下水処理場では人口減少に伴う統廃合や技術革新による処理の効率化などにより、未利用となっている土地が多く存在しています。また、国土交通省も下水処理場を「下水熱や再生水などを活用し農業生産拠点化」することを推奨施策のひとつとして掲げています。

当社は、新たな産業と雇用創出の実現を可能とするアクアポニックスを、多様化する上下水道事業体のニーズにお応えする新たなソリューションとして提案を進めています。



新潟県長岡市にあるパイロットプラントでは複数の品種のレタスを栽培中

TOPICS 岩手県大船渡市で「アクアポニックス」事業がスタート

大船渡市では、下水処理場の未利用地の有効利用を模索していました。また、人材雇用の創出、地域産業との連携といった課題もあり、それらを同時に解決できる取り組みとしてアクアポニックス事業を評価いただきました。現在、大船渡市から本事業のため下水処理場内の敷地を貸付いただいています。本事業は、合弁会社「株式会社テツゲンメタウォーターアクアアグリ」が、2021年11月から大船渡浄化センターの隣接地で事業を開始しています。チョウザメの養殖と無農薬・無化学肥料の野菜の水耕栽培を行い、2022年10月から生産物を出荷・販売することを目指しています。

魚と植物を同時に育てる次世代農業



アクアポニックスで育てられるもの

植物

- 葉物野菜(レタス、サンチュ、バジルなど)
- 果物(イチゴ、ブルーベリーなど)
- 他にもワサビ、根菜(人参、大根など)、花(バラ、菊など)の栽培に成功！

魚

- 淡水魚(チョウザメ、鮭類など)
- 淡水域で生息可能なエビなど

TBSラジオ番組 メタウォーターpresents『水音スケッチ』アンケート



ブランドプロモーションの一環として、2015年9月から当社がスポンサーとなってスタートしたTBSのラジオ番組「メタウォーターpresents 水音スケッチ」は、リスナーの皆さまに支えられ7年目に突入しました。

水音スケッチは、水と音の親和性を、水音とTBS 堀井美香アナウンサーのナレーションでお伝えするドキュメンタリー番組で、毎週月～金曜日にわたって、1カ所の日本の水風景をご紹介します。水音が作り出す世界観をお伝えしています。

今回は皆さまのご意見を、今後の番組内容に反映していくことを目的にアンケートを実施します。

お答えいただいた方には、もちろんメタウォーターオリジナルマスク(2個)とマスキングテープ(柄は選べません)をプレゼント。右記QRコードから、2021年12月17日(金)までにご回答ください。忌憚のないご意見をお待ちしています。



これまでにご紹介した水風景

当社が事業に参画している地域も番組でご紹介しています。



2020年2月3日～2月7日放送
『福岡県 北九州市小倉』



2019年8月19日～8月23日放送
『神奈川県 横浜市 中区』



2019年6月10日～6月14日放送
『東京都 日野市』



2019年1月21日～1月25日放送
『福島県 会津若松市』

番組情報

- 放送日時 : 月～木曜日 12:26頃(5分間)「ジェーン・スー 生活は踊る」内 金曜日 12:26頃(5分間)「金曜ボイスログ」内
- 放送局 : TBSラジオ (AM 954kHz/ FM 90.5MHz)
- 放送エリア: 関東1都6県

Radiko 検索

放送エリア外にお住まいの方は、Radikoから放送をお聞きいただくことが可能です。



TBSラジオの公式ホームページでは、放送された水風景が写真とともに紹介されています。ぜひご覧ください。